

成田市立下総みどり学園 図画工作科・美術科研究主題  
「ひとりひとりが主体となり造形的な見方・考え方を  
深められる生徒の育成」  
～義務教育学校の特性を活かして～

印教研図工・美術研究部テーマ

「造形教育はこれからも未来をつくる」  
～身につけさせたい力は何かを問う～



令和元年度 8月27日(火) ヒルトン成田

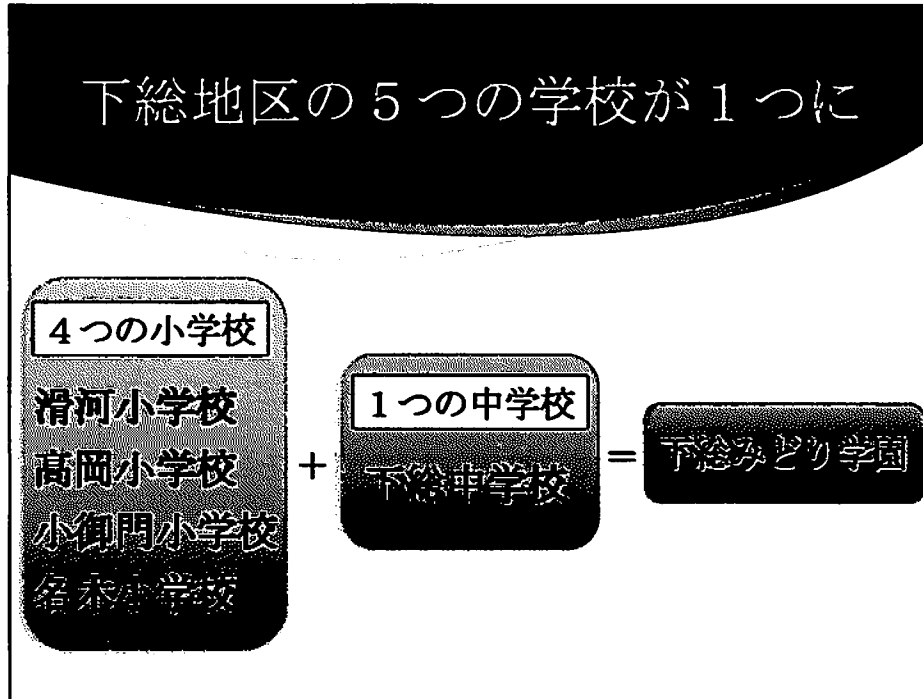
成田市立下総みどり学園 菅野宏美

**本校の概要**

正式校名 義務教育学校 成田市立下総みどり学園

平成26年4月 開校（4つの小学校と1つの中学校が同一の敷地にある状態）

平成29年4月 正式に義務教育学校としてスタート



**教育課程**

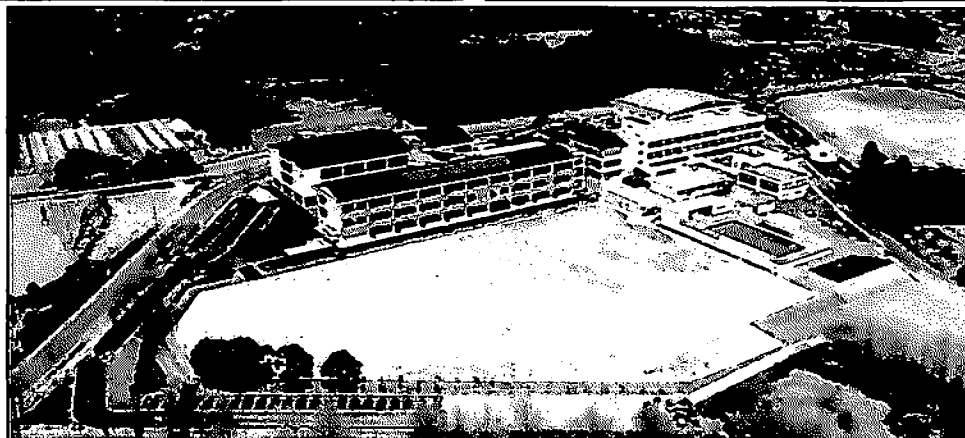
教育課程 - ブロック制の導入 -  
4・3・2ブロック制の導入

前期課程						後期課程	
24						23	
前期ブロック				中期ブロック			
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
1	2	2	2	3	2	2	
3.9	4.3	4.7	4.8	4.2	3.9	4.8	
総計		前期		後期		合計	
2		1		1		1	
9		2		7		3	

教育課程 - 教科担任制の導入 -  
5年生からの専科教員による指導

英語科	美術科	音楽科	家庭科
1年	1年	1年	1年
2年	2年	2年	2年
3年	3年	3年	3年
4年	4年	4年	4年
5年	5年	5年	5年
6年	6年	6年	6年
7年	7年	7年	7年
8年	8年	8年	8年
9年	9年	9年	9年

0学年担任専科教員担任



## 作品鑑賞スペースについて

前期課程と後期課程を繋ぐ共有の場所に、図画工作科（5・6年）と美術科（7・8・9年）の作品を展示し、自由に鑑賞できるスペースを設置している。休み時間に生徒が多く集まり、今後は、前期課程の作品も展示していく予定。



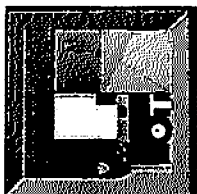
9年生の絵画

### 8年生の作品

ここに飾られることを目的として制作した。

### 8年の生徒

パズルの様子を  
チェックしている。



5年



3年

1年

# 図画工作科・美術科における異学年合同鑑賞授業

成田市立下総みどり学園 図画工作科・美術科の研究主題

「ひとりひとりが主体となり造形的な見方・考え方を深められる生徒の育成」

～義務教育学校の特性を活かして～

## 1 研究主題について

### (1) 学習指導要領の改訂から

新学習指導要領の改訂の趣旨において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、「見方・考え方」を働かせることが重要になると示された。「見方・考え方」とは、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」という視る力や考える力のことである。その力を深めるためには、生徒自身が自在に働かせられるようにする必要がある。図画工作科・美術科では、授業の様々な活動を通して、自他の作品の捉え方にふれるだけでなく、そこから見方・考え方を変化させるような授業の研究にあたってきた。

本研究は、近年様々な実践がなされている対話的な鑑賞活動を研究の中心とする。鑑賞には、様々な作品が印刷されたアートカードを使う。これまでにあまり見たことのない作品に出会い、感じたことを言語化して伝える過程を経ることで、自他の感性にふれ、見方が広がり、さらに考え方が深まることをねらいとする。

しかし、義務教育学校である本校で、対話的活動を行う際には課題がある。幼少期から共に育ち、家族や親戚同然の人間関係ゆえ、感覚を言葉にせずとも相手に伝わってしまうという強すぎる一体感である。このような人間関係のなかでは、対話での鑑賞活動で効果が出にくく、見方の新たな発見や考え方の深まりなどが起きにくい。その状況を打開するため、異学年での合同の鑑賞活動を行う。異学年の児童生徒を引き合わせることで、学年や学級で表現しにくかった自分なりの考えを伝え、得られなかった新たな発見に出会うことができ、見方・考え方が深まるであろうと考えた。

### (2) 本校の教育体制から


本校の、「9年間の連続した学び」を意識した教育体制では、小学生から中学生までを同じカリキュラム上で教育している。特に、5学年からの専科制というのは強みである。中学校側の専科の教員が教育活動を行うため、より専門性のある内容や、中学校の内容を意識した学習活動を行うことができる。そのため、今回の研究では、図画工作科と美術科の両方の視点から研究を行う。小学生も中学生も、同一の教員が担当しているため、発達段階の差で見方・考え方に違いや特徴があるのかを事前に調査・分析したうえで、組み合わせることが可能である。お互いに欠けているものを補い、ひとりひとりが自分なりの考えを発信できる場を設定でき、対話的な鑑賞活動の効果を引き出すことができると考えた。その結果、児童・生徒がそれぞれ、見方・考え方を深められるであろう。


以上のことから、本研究の主題を「ひとりひとりが主体となり、見方・考え方を深められる生徒の育成」と設定した。

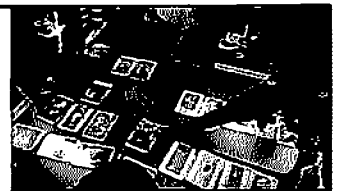
## 2 研究仮説について

### (1) 実態調査

仮説を立てるにあたり、各学級において実態調査を兼ねて授業を行った。

<b>実態調査1</b> …8年 題材名「アートカードで鑑賞～どこまで共感させられるか！～」
場の設定 各班3～4人で編成
目 標 「感じたこと共感してもらえるように伝えよう」
活動内容  ①…カードを使って、今日の気分を表す（作品の雰囲気をとらえさせる） ②…「共通点探し」神経衰弱のようにカードを2枚めくり、共通点を探し伝える。 ③…「似たものつなげ」共通点を話し合いながら、種類やつながりを考え、机に並べる。 ④…「カードで4コマ」無作為に選んだ4枚で起承転結のストーリーを班で考える。
考 察 ○それぞれの活動のねらい通りに、視点を移行させていく様子が見られた。 ○社会科で習った知識などを使い、根拠を明らかにしながら観察していた。 ●人間関係を優先して、言葉を選んでいる様子が見られた。特に女子に多かった。 ●③では、中心となる生徒の好みが強く反映された班が多かった。 ●④では、時代背景などにとらわれて、奇想天外な発想は、ほぼ出ず。 ●授業後の振り返りでは、「意見が自由に言えず、楽しくなかった」というものもあり。

<b>実態調査2</b> …5年 題材名「アートカードで鑑賞～たくさんの作品と考え～」
場の設定 各班3～4人で編成
目 標 「友達の見方や考え方にふれよう」
活動内容  ①…カードを使って、今日の気分を表す（作品を見させる） ②…「一言連想ゲーム」言葉にあうカードを選ぶ。（雰囲気をとらえる） ③…「似たものつなげ」カードの共通点を見つけながら上下左右に配置する。 ④…「カードで4コマ」無作為に選んだ4枚でストーリーを班で考える。
考 察 ○生徒によっては、作品の鋭い分析が見られた。☆ ○④では、陶芸作品などを擬人化するような発想も見られた。 ○人物が描かれているものは、作者の気持ちではなく、絵の中の人物としての気持ちを想像していた。 ●④では、人物中心のストーリーが多く、風景は背景として扱われることが多かった。 ●相手の考えを受け入れず、自分の考えを押し通そうとする児童が見られた。 ●授業後の感想では、「意見が通らなかった」と、こぼしていた生徒もいた。



### (2) 実態調査のまとめ

どちらの学年も活動内容に応じて、印象などの大まかな見方から細部まで分析する見方へと、視点を変化させていた。また、特に女子に多く見られたのが、友人の反応を予想して言葉や作品を選ぶ様子だった。友人のグループなどが関係しているものと思われる。

5年生は、感じた印象や描かれているもの、好みなどをもとに発言していたが、8年生は、作家の名前や時代背景などが判明するとそれ以上、深く見ようとはあまりせず、見方を深めることが少なかった。

### (3) 仮説

仮説 異学年と合同に鑑賞することで、自分とは異なった見方・考え方に気づき、主体的に作品と向き合うことができるだろう。

学年	合同鑑賞会で期待できるメリット	予想されるデメリット
5・6	○作品を細部まで見るという姿勢が生まれるのでは。 ○相手の考えに耳を傾けるという姿勢が生まれるのでは。 ○語勢で伝えるものではないという理解が生まれるのでは。	●時代背景など裏付けある上級生の考えを優先してしまうのでは。
8・9 (中2・3)	○作品の自由な見方・考え方をして良いと理解が生まれるのでは。 ○下級生をリードする設定により、感じたことを言葉にして伝える姿勢が生まれるのでは。	●下級生の意見を優先してしまうのでは。

#### 【仮説の手立て】

- ①ペアや班のメンバーは、完全に意図的に編成した。実態調査の結果や普段の人間関係を考慮し、活動がスムーズかつ、活動の効果が生まれるように行った。
- ②作品の見方に変化をつけるために、活動内容に種類を持たせる。前半から中盤は、全体から細部へと視点移す活動を設定し、後半は1つの作品についての調べ学習を設定し、作品を深く見る時間を設定する。

### 3 研究計画

月	活 動 内 容
5	研究内容の決定, 実態調査を基に仮説を立てる ※生徒の実態に掲載
6	実態を踏まえ, 異学年合同授業の内容決定および実践
7・8	研究のまとめ

### 4 研究の実践

(1) 題 材 名 「アートカード de 作品鑑賞」

実践学年 15・8学年 26・9学年

(2) 題材について

#### ①題材観

本題材の学習指導要領解説との関係は、下記表の内容に基づき設定した。

8・9年 (中学2・3年)	B鑑賞(1)ア(ア)「造形的なよさや美しさを感じ取り作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め見方・感じ方を深めること。」
	共通事項(1)イ「造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。」
5・6年	B鑑賞(1)ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし自分の見方や感じ方を深めること。
	共通事項(1)ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

本題材の内容は、美術作品を鑑賞および調査することで、美術文化への興味・関心につなげる題材である。ただし、美術に関する知識の蓄積のみで終わらず、対話的な作品鑑賞を通して見方・考え方を深めさせたい。そこで、作品の調査活動の前に、工夫を加えた鑑賞活動を取り入れ、作品との出会いの場を演出する。アートカードを使ったゲーム形式の鑑賞活動をすることで、先入観などを取り払い、これまで興味を抱かなかった作品に対しても自由に鑑賞することができると思う。

また、本校の環境を生かして取り入れる異学年合同の鑑賞活動では、長い間、共に生活することで固定化された人間関係に異学年が混じり合い活動することで、自他の異なる見方に気づき、考え方を深めることをねらいとしている。活動内容としては、ゲーム感覚でできるものを行い、見方の正解などは求めない内容を意識した。また、実態調査において、それぞれの学年に見方・考え方の特徴がみられたため、上級生と下級生のペアを意図的に作り、対話の場面を多く設定した。これにより、活動中に自然と自他の見方・考え方に触れられると考える。そして、題材の後半は、鑑賞した作品の中から、相手を尊重しながらも自分なりの感性で気に入った作品を1点選び調査活動および作品紹介の作成を行う。

合同鑑賞会は、学年間で見方・考え方の違いを可視化する。それゆえ、異学年が交わって鑑賞することが、どのように効果があるのかを検証し、今後の児童生徒の表現および鑑賞活動に生かしたい。

## ②生徒の実態

本校の所在地である下総地区は、他に小学校や中学校がなく、児童・生徒達は幼少期から同じ仲間に囲まれて過ごしている。家族や親戚同然の人間関係であり、感覚を言葉にせずとも相手に伝わってしまう。これは、中1ギャップを解消し、特別支援の生徒が孤立しにくいという良い面もあるが、外的刺激が少ないため、経験のないことや新しいことへ向かう力が育ちにくいという実態がある。

図画工作科・美術科に関するアンケート (5・6・8・9年 男子84名 女子80名 計164名 6月に実施)

○作品制作の過程で、一番苦勞するのはどこですか			
・アイデアスケッチ	58%	・制作(イメージ完成後)	42%
・鑑賞	0%		
○作品のアイデアを作るとき、何を参考にしますか。			
・教科書の参考作品	43%	・関連する資料集	25%
・友人の作品	20%	・これまでに見た記憶など	12%
○好きな作品を選ぶとき、何を重要視していますか。			
・雰囲気	39%	・描かれているもの	26%
		・色	26%
		・その他(材料)	9%

制作前の表現の構想を練る際に、自分自身の好きなものに向き合い、イメージを膨らませたり、関連させたりすることが苦手な生徒が多いことがわかる。アイデアを作る際には、参考書などが主な情報源になるので、完成した作品がとても似てしまい、上手い・下手だけで作品の鑑賞をしてしまいがちである。

## ③指導観

本校の生徒の実態である、鑑賞時の稚拙な言語活動や新しいものを取り入れることへの積極性の低さなどの課題から、異学年合同鑑賞会を取り入れ、言語活動を引き出す状況を作り出したり、PCを利用してすぐに情報を調べやすくしたりする場を設定する。学年の組み合わせ方は、3学年離れた学年を選び、顔見知りの関係だが深く関わるのが少ない学年同士で設定する。また、ペアや班は、普段の様子から判断し、教師側で意図的に決める。例えば、発言が苦手な児童生徒は、同じような雰囲気の生徒と組ませたり、逆に、自分の考えを伝えようとする児童には、論理的に対処できる生徒を組み合わせたりした。鑑賞会では、それぞれの学年の特性を伝えつつも、見方の刷り込みにならないように指導にあたる。

鑑賞で使用するアートカードは、様々な感覚を感じさせるために、各班20枚ほどを配布する。作品の内容は、絵画や彫刻、建築作品など幅広い作品を、偏りのないように事前に確認しておく。

また、今年度、本校の校内研究の中心にICTの活用があるため、コンピューターの利用も取り入れる。調べ学習の段階では、作品について興味を持ち始めたすぐその場で、作者や題名などを調べさせ、次の時間への

動機付けとする。作品紹介の作成では、作品に関する情報のつながりに意識を持たせ、文字のレイアウトや配色などに集中させられるようにする。様々な活動を通して見方・考え方を働かせ、今後の自身の作品制作へと活かせるように指導していきたい。

(3) 題材の目標

【8・9年】

- 描かれている内容や他者の見方・考え方について関心をもち、考えを交流しようとしている。(美術への関心・意欲・態度)
- 様々な芸術作品について見方を深め、自分の感性を高めることができる。(発想・構想の能力)
- 作品についての情報を整理し、魅力ある作品へと工夫してまとめることができる。(創造的な技能)
- 作品に込められた思いや感情を読み取り、その良さを味わうことができる。(鑑賞の能力)

【5・6年】

- 作品の美しさや、描かれた意図などに関心をもって見ようとする。(図工への関心・意欲・態度)
- 作品を見たり、友達と話し合ったりすることで、自分の見方や感じ方を深めることができる。(鑑賞の能力)

(4) 学習計画 (6時間扱い…8・9学年)

次	学習内容	評価基準 (評価方法)
1次 (時数1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">感じたことを共感してもらえるように伝えよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の共通点を見つけ出す。</li> <li>○作品と作品を関連させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを伝え、意見の交換ができる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【関】(行動観察)</p>
2次 (時数1) 異学年合同	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">鑑賞を通して、作品の見方を深めよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の全体的雰囲気をつかむ。</li> <li>○作品についてペアやグループ間で意見交換。</li> <li>○調べ学習の作品を決める。(PCの利用)</li> </ul>	<p>手立て①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○意見の交換をしながら、他者の考えに触れることができる。<span style="float: right;">【関】(行動観察・ワークシート)</span></li> </ul> <p>手立て②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の細部まで観察し、描かれているものを読み取ろうとしている。<span style="float: right;">【鑑】(行動観察)</span></li> </ul>
3次 (時数3)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">作品の面白さや良さを伝えよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作品の詳細を調べる。</li> <li>○集めた情報をまとめなおす。</li> <li>○プリントアウトした用紙に、作品画像を模写する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査活動から、作品の主題を見つけ出すことができる。<span style="float: right;">【関】(行動観察・ワークシート)</span></li> <li>○作品の魅力が伝わるように、文字などの配置や配色を試行錯誤している。<span style="float: right;">【発・技】(作品・ワークシート)</span></li> </ul>
4次 (時数1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">作品の面白さや良さを感じ取ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いの作品紹介を鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品紹介から、作品の面白さや新たな発見ができる。<span style="float: right;">【鑑】(ワークシート)</span></li> </ul>



(5) 本時の指導

①目標

【8・9年】

○描かれている内容や他者の見方・考え方について関心をもち、考えを交流しようとしている。

(美術への関心・意欲・態度)

○作品に込められた思いや感情を読み取り、その良さを味わうことができる。

(鑑賞の能力)

【5・6年】

○作品に込められたものを感じ取り、伝えることができる。

(鑑賞の能力)

②展開 (2/6)

段階	学習活動・内容〔学習形態〕	◎指導・支援 ○評価	資料
導入 5	1 前時までの流れを振り返る。〔一斉〕 (1) 鑑賞のルールを確認 (2) 本時の目標を把握する (3) ペア・グループの発表	◎前時の活動を思い出させ、本時の見通しを持たせる。 ◎課題をワークシートに記入させる。 ◎決まりごとを掲示する。	ワークシート  プロジェクター
鑑賞を通して、作品の見方を深めよう			
展開 5	2 ウォーミングアップ〔グループ〕 (1) 一言連想ゲーム (2) アートカードで自己紹介	◎たくさんのカードに目を通させるようにする。	カード 配布 内容掲示
1 2	3 活動①「探偵ゲーム」〔ペア〕〔グループ〕 (1) 順番や作品を決める (2) ゲーム	◎内容が少し複雑なため、準備段階を区切り、ゲームは一斉に開始する。 ○ペアと相談し、グループで意見を交わしながら、作品を鑑賞している。 (関・意・態)	ルール 掲示
1 3	4 活動②「似たものつなげ」〔グループ〕	◎作品のつながりを自由に考えさせる。例を板書する。 ○作品の全体や細部などを見比べながら、鑑賞できる。 (鑑賞)	内容・例 掲示
1 0	5 作品を1作選び調査〔ペア〕	◎PCは、すぐに使用できるように、あらかじめ起動しておく。	内容掲示
終末 5	6 片付け、PCを元の位置に戻す〔ペア〕 本時を振り返る。〔個人〕 (1) 振り返りを記入する。 (2) 次時への見通しを持たせる。	◎PCの片付けは、上級生が行うように指示を出す。	ワークシートの回収について板書

5 成果と課題

【手立て①について】

- 実態調査で自分の考えをあまり表明しなかった生徒が、意図的にペアを組むことで、班員全員での話し合いでも、積極的に意見を述べるなどいきいきと活動していた。
- 上級生の女子生徒に関しては、「面倒を見なくちゃ」という意識からか、下級生へ意識が向き、学級内の人間関係に左右されずに鑑賞しができた生徒が多かった。
- 上級生の様子を見てか、班員の意見を聞かずに自分の意見を押し通そうとする児童は、ほとんど見られず、描いた作家の気持ちなどを考える様子が見られた。
- ペアによっては、組み合わせの効果が発揮されなかったものもあった。特に活発な児童への対応に手こずる上級生が見られ、作品をじっくり鑑賞させられなかった。児童生徒の観察が不十分だった。
- ペアとして発言する際に、先輩にお任せしてしまう生徒がおり、先輩の発言を控えてしまったようだった。
- 人数や活動内容が多く、ひとりひとりの発言数がすくなかった。



【手立て②について】

- 最初の「一言連想」から「探偵ゲーム」まで、カードと体の位置がどんどん近づき、細部へと視点を移している様子が見られた。
- 様々な作品を見ることに重きを置いた活動が多く、自分の好みに左右されずに活動できていた。
- 活動中から、作者や作品の意図などについて疑問を抱くような声が聞こえていたので、終末にPCでの調査活動時間を設けたのは、見たものを知識として獲得させるのに有効だった。
- 活動内容が、視点を移行させていくものが多く、自由に発想させる活動が少なかったため、下級生の自由さを少ししか発揮させられなかった。

【ワークシートの感想から】

- 鑑賞活動の内容がゲーム感覚だったため、取り組みやすく、作品が身近に感じられた
- 上級生は下級生の自由な発想にふれたことで、作品を見るときに歴史的な事実などを考えすぎだったと、これまでの自身の見方を振り返り、見方の変化を自覚していた。
- 作品に対しての考えは異なるが、それが発見として感じられたという上級生もいた。
- 上級生の細部まで注目している様子に、尊敬の念を抱くような感想もいくつかあった。
- 上級生に色々教えてもらい、作品鑑賞を楽しめた。



【8学年の生徒の変容】

生徒	普段の様子	以前制作した作品	鑑賞後に選んだ作品	変容に見る成果と課題
Aさん (女子)	ハキハキとしている。 作品は、いつもかわいらしい感じ。 丁寧に作品を作る。		 暗くて怖いけど、なぜこんな絵を描いたのか気になる。 自画像なのか肖像画なのか。 中村彝「自画像」	いつも筆跡までこだわる生徒が、中村彝の筆跡が残り、骸骨が描かれている作品を選んだ。自身とは異なる感覚を疑問に感じたことで、これを選んだ。色や筆跡から得る感情を、共感的にとらえさせたい。
Bさん (女子)	大人っぽい。 いつも落ち着いた色使い。作品制作において、一目置かれた存在。		 色使いが目立っていたし、この作品が何の場面なのか知りたい。 サヴィニャック「石鹸のポスター」	作風が確立している生徒で、あまり人の意見に左右されない。サヴィニャックの色使いに注目したことで、作品紹介も、これまでとは異なっている。相手を意識した表現の獲得へとつなげていきたい。
Cさん (男子)	作品の構想を練るのが苦手。技能においても、かなり支援が必用。		 昔の絵なのに、今っぽい。お話がありそうだから。全部見たい。 「鳥獣人物戯画」	友人や資料の模倣や自身の技能レベルから作品を発想しており、自分の好みを考えたり、作品に興味を持ったりしているのは、大きな変化だ。自分の感覚に自信を持たせるように指導にあたりたい。

本研究にて、異学年との合同に活動することは、異なった見方・考え方に会っただけでなく、それを友好的に捉えさせることに効果があった。異なる見方・考え方に会わなければ、それを深めたり、自在に働かせたりすることもできないのだと分かった。さらに、様々な見方・考え方が受容的な環境であることで、主体的に作品と向き合うことができたのだと考える。

小中学生が同じ授業を受けるだけでなく、実態を踏まえた効果的な授業を検討し、さらに児童生徒の変容を見届けられるのは、義務教育学校の特性である。今後も様々な題材での研究を重ねていきたい。

※この研究での活用例です。名称やルールは実態に合わせて設定しました。

	活動名	形態	活動内容
A	自己紹介 (異学年合同時のみ)	1人 ↓ 班	<p>①配られたカードを、全て見える状態にして並べる。</p> <p>②そのカードから、「自分を表す」1枚選ぶ。</p> <p>③選んだ理由などがわかるように自己紹介をする。</p> <p>例：「〇年 〇〇です。将来保育士になりたいです。 なので、このカードを選びました」 → </p>
B	今日の気分を表す		<p>①配られたカードを、全て見える状態にして並べる。</p> <p>②画像が見える状態のカードから「今日の気分を表す」1枚選ぶ。</p> <p>③選んだ理由などがわかるように自己紹介をする。</p> <p>例：「雨が続いていて、テンションが上がらないです。 なので、このカードを選びました」 → </p>
C	一言連想ゲーム	1人 ↓ 班	<p>①配られたカードを、全て見える状態にして並べる。</p> <p>②教師が様々な言葉を言い、その言葉に合うカードを考える。</p> <p>③班員一斉に指をさす。見たポイントや感じたことを、各班で述べ合う。</p> <p>①～③を、何回か繰り返す。</p>
D	共通点探し	1人・ペア ↓ 班	<p>①神経衰弱のように、絵が見えないようにカードを並べる。</p> <p>②同時に2枚めくり、瞬時に共通点を述べる。</p> <p>③班員が共感したら、その2枚をもらえる。</p> <p>④一番カードの多い人が勝利。</p>
E	探偵ゲーム		<p>①1ペア「犯人」のペアを作る。それ以外のペアは「探偵」。</p> <p>②絵が見えないようにカードを重ね、「犯人」はそこから4枚選ぶ。 さらにその4枚から、1枚決める。</p> <p>③「探偵」は順番に、YES・NOで答えられる質問をする。</p> <p>④1巡したら、「探偵」の予想を発表後、「犯人」は正解を発表する。</p>
F	似たものつなげ		<p>①各班に15枚程度のカードを配る。</p> <p>②重ねて置いた絵が見えない状態のカードを、一枚めくる。</p> <p>③そのカードを「中心」とする。</p> <p>④一人一枚ずつめくり、共通点を見つけながら、「中心」の周囲に並べていく。</p> <p>⑤学級全体に発表する。</p>
G	カードで4コマ	班	<p>①各班に15枚程度のカードを配る。</p> <p>②無作為に4枚選び、班員全員でストーリーを考える。 上級生は4枚に起承転結を決める。</p> <p>③学級全体で発表する。</p>

資料②

鑑賞活動

# アートカード de 鑑賞

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

目標：

今日のメニュー

- 1, ウォーミングアップ
- 2, **活動1** 探偵ゲーム【ペア・班】
- 3, **活動2** 似たものつなげ【班】
- 4, **活動3** 調査活動【ペア】
- 5, 振り返り&片付け

色や形に特徴はあるかな？

その特徴は、どんなかな？

私が選ぶ1作

作 者	
題 名	
どこに所蔵	
作品の特徴 何が描かれている？ どんな描き方？ どんな画材？	
<b>作品の模写</b>	次の時間にわかるように、特徴的な部分を書き写しておこう！

◎自己評価◎

鑑賞のルールを守れた。	A・B・C	新しい表現の言葉をゲットできた。	A・B・C
作品をよく観察できた。	A・B・C	気に入った作品を見つけられた。	A・B・C
本日を振り返って			